

中期経営計画

当社グループでは、平成28年度から3ヵ年で実施する中期経営計画を策定しました。

前中期経営計画では、低金利の継続により貸出金利息は計画を下回りましたが、調達コストの減少と有価証券運用の多様化によりカバーできたことと、経費の削減もあって当期純利益をはじめとしたすべての計数目標を達成することができました。

足元では、2月より史上初のマイナス金利政策が開始され、国債を中心とした有価証券運用の難しさ、貸出金利回りの低下といった問題に直面しています。長期的な観点では、営業エリアにおける人口減少や高齢化の進展という問題も依然として大きな課題であると認識しています。

新中期経営計画『BEST for the Region』では、こうした環境のなか、地域経済をバックアップするため、ビジネスモデルの変革とグループシナジーのさらなる追求に取り組んでいくこととしております。広域ネットワークの強みを活かすとともに効率的なグループ経営体制を構築することにより、地域No.1の金融サービスの提供に努め、お客さまと地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループとなることを目指してまいります。

計画の概要

名 称	中期経営計画『BEST for the Region』
期 間	3年間(平成28年4月～平成31年3月)
位 置 付 け	予想される環境変化のなかで地域経済をバックアップしていくために、ビジネスモデルの変革とグループシナジー効果のさらなる追求に取り組む期間
目指すグループ像	<p>地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループ</p>  <p>ほくほくFG 北陸銀行 北海道銀行 その他の関連会社</p> <p>No.1サービスソリューション</p> <p>信頼と選択</p> <p>お客さま 地域社会</p>
基 本 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ①営業力の強化 ～お客さまの期待を上回る提案力・サービス力の実現 ②経営の効率化 ～競争を勝ち抜く機能的な組織の追求 ③経営基盤の強靱化 ～地域から信頼される安定した財務基盤の構築

前中期経営計画の達成状況(2行合算・連結)

	平成28年3月期 (目標)	平成28年3月期 (実績)
総預金平残	10兆1,100億円	10兆6,389億円
貸出金平残	7兆4,800億円	7兆5,457億円
コア業務純益	470億円	520億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	185億円	288億円
OHR (コア業務粗利益ベース)	67%	63.57%
連結自己資本比率	10%以上	10.30%
不良債権比率	2%台	2.15%

新中期経営計画で目標とする計数(2行合算・連結)

	平成31年3月期 (目標)
預金平残	10兆5,600億円
貸出金平残	7兆7,600億円
コア業務純益	415億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	230億円
OHR (コア業務粗利益ベース)	69.14%
連結自己資本比率	9.55%

計画の基本方針に基づく施策の展開

営業力の強化 ～お客さまの期待を上回る提案力・サービス力の実現

(1) 個人マーケットへの取り組み

- ① 資産形成層と資産運用層へのライフステージに応じた提案や、相続をはじめとした資産承継支援に対する取り組みにより、地域のお客さまのお役に立つ情報提供と関連商品・サービスのご案内に努める。
- ② 多くのお客さまに選んでいただけるよう、ローンの商品性・利便性向上とプロモーション強化により様々な借入ニーズに応じる。
- ③ 対面・非対面チャネルの機能の向上により、身近で頼れるメインバンクを目指す。

(2) 法人マーケットへの取り組み

- ① 事業性評価と目利き力を磨き、企業とのきめ細やかなリレーションを通じて経営課題やニーズを共有し、当社グループの持つ様々なソリューションを提供することで地域産業の成長・発展に貢献する。
- ② 当社グループの強みである北海道・北陸・3大都市圏の幅広い国内ネットワークを活かしたビジネスマッチング等の支援と、海外駐在員事務所や提携機関等を活用した海外ビジネスのサポートに努める。

(3) 有価証券運用強化

円債を中心としたポートフォリオを基本としつつ、マーケット環境に応じて機動的に投資信託や外債での運用を行うことで収益力を強化する。

経営の効率化 ～競争を勝ち抜く機能的な組織の追求

- (1) IT投資によるペーパーレス化や事務処理の簡素化に加え、事務バックオフィスの強化やグループ内での共同化・集約化に取り組むことで、生産性の向上と効率的な業務運営態勢を構築。
- (2) 既存店舗のエリア運営態勢の変更や営業スタイル別店舗の導入、地域やマーケットに適した店舗の再配置、非対面チャネルの強化により、地域のお客さまにご満足いただける金融機能の提供とご利用しやすい環境の提供に努める。

経営基盤の強靱化 ～地域から信頼される安定した財務基盤の構築

地域に安定的に金融サービスを提供していくために必要な健全な財務基盤の維持を第一としつつ、経済環境や収益状況に応じて株主還元の充実に努める。

「ほくほくTT証券株式会社」の設立について

当社と東海東京フィナンシャルホールディングス株式会社(以下、東海東京FH)は、共同出資により証券会社を設立することについて基本合意し、28年度下期中の開業を目指し準備を進めております。

当社グループが持つ豊富な顧客基盤・店舗網、地域に根ざして築いてきたブランド力と、東海東京FHの持つ証券業ノウハウを融合し、地域のお客さまの資産運用におけるニーズの多様化と高度化にお応えできる、地域のための証券会社を目指してまいります。